

## 企画提案書作成要領

健康長寿医科学センター開設準備室企画課

## 目次

1 全般的な注意事項 .....	4
2 企画提案書の規格・構成 .....	4
3 提案依頼事項 .....	6
(1) 提案者概要 .....	6
①会社概要（様式 1.1） .....	6
②システム導入実績（様式 1.2） .....	6
③システム稼働実績（様式 1.3） .....	7
④責任者職務実績（様式 1.4） .....	7
(2) 要求仕様に対する実現性 .....	8
①システム機能に対する要求事項の回答書（様式 2.1） .....	8
②業務委託内容への加点項目の回答書（様式 2.2） .....	8
(3) システム品目内訳書（様式 3） .....	8
(4) 提案システムの特徴（様式 4：自由様式） .....	8
(5) 提案システムの明細 .....	8
①提案システムの構成（様式 5.1） .....	9
②システム構成図（様式 5.2：自由様式） .....	9
③システム間連携（様式 5.3） .....	9
④サーバーラック収納構成図（様式 5.4） .....	9
⑤ネットワーク構成図（様式 5.5：自由様式） .....	10
⑥ネットワークセキュリティ対策（様式 5.6：自由様式） .....	10
(6) システムの使いやすさ（様式 6.1：自由様式） .....	10
(7) 構築プロジェクトに関する提案 .....	10
①構築スケジュールと役割分担（様式 7.1） .....	10
②開発体制と担当者の実績（様式 7.2） .....	11
(8) システム構築に関する提案 .....	11
①WG（ワーキンググループ）の構成と実施方法（様式 8.1：自由様式） .....	11
②マスタ構築の方法（様式 8.2：自由様式） .....	11

( 9 ) 稼働準備に関する提案 .....	11
①職員に対する操作訓練及び研修の内容と実施方法（様式 9.1：自由様式） .....	12
②リハーサルの考え方と実施方法（様式 9.2：自由様式） .....	12
( 1 0 ) システム稼働開始に関する提案（様式 10：自由様式） .....	12
( 1 1 ) 安定稼働に関する提案 .....	12
①障害の想定とその対策及び回避策（様式 11.1：自由様式） .....	12
②レスポンス低下に対する対策及び回避策（様式 11.2：自由様式） .....	13
③保守体制（様式 11.3：自由様式） .....	13
( 1 2 ) セキュリティに対する考え方 .....	13
①サイバー攻撃に対するセキュリティ対策（様式 12.1：自由様式） .....	13
②内部活動に対するセキュリティ対策（様式 12.2：自由様式） .....	14
( 1 3 ) コストに関する提案 .....	14
①継続利用にかかる費用（様式 13.1：自由様式） .....	14
②システム更新費用に対する考え方（様式 13.2：自由様式） .....	14
③製品（OS など）のサポート終了に対する対応（様式 13.3：自由様式） .....	14
( 1 4 ) 情報の利活用（様式 14.1：自由様式） .....	15

## 1 全般的な注意事項

- (1) 提案者は、資料 1「医療情報システム構築業務委託にかかる仕様書」（以下、「仕様書」という。）に基づき提案すること。
- (2) システムを稼働させるために必要となる全ての機器・ソフトウェア等の費用は、受託事業者が負担することになるので、大阪公立大学医学部附属健康長寿医科学センター病院（以下、「新病院」という。）の趣旨を十分に理解したうえで提案すること。
- (3) 提案内容に対する理解の齟齬が生じないよう、説明は文章を中心に行い、図表等はそれを補足するものとして用いること。
- (4) 専門用語は極力避けること。やむを得ず使用する場合は、用語の注釈をつけること。
- (5) 専門的な知識を持たない者でも理解できるように、極力わかりやすい表現で記載すること。
- (6) 新病院の提示した仕様書のコピー及び「仕様書のとおり」といった記述に終始しないこと。
- (7) 企画提案書の内容は原則として応札者が応札額の範囲内で実現できるものとするが、追加費用が発生する場合には、明確に記載すること。
- (8) 提出された企画提案書等の修正はできないものとする。
- (9) 提出された企画提案書の内容について、事前あるいはプレゼンテーション当日に質問をする場合があり、質問への回答は応札者が作成した議事録に記載し、契約書に添付する。また回答に対して疑義がある場合は、応札額の範囲内で改善を求める。
- (10) 提出された企画提案書等は返却しないものとする。
- (11) 企画提案書に本システムを実現するためのハードウェア・基本ソフトウェア等の記載漏れがあった場合にも、応札額の範囲内で本システムに必要なハードウェア・基本ウェアを調達できるものとして提案したものとしなす。

## 2 企画提案書の規格・構成

- (1) 企画提案書の規格
  - ア 企画提案書は指定の様式によって提出すること。
  - イ 企画提案書作成は、様式データが指定されたものは Excel2016 以降を用いて編集すること。自由様式として指定された様式及び提案内容を補足するための資料については Word2016 以降もしくは PowerPoint2016 以降を用いてもよい。この場合も指定の様式に合わせること。
  - ウ 自由様式として指定された様式は、指定された様式データと同様に、用紙左上及び右下に様式番号及び該当する提案項目名、様式下中央にページ番号を記載すること。
  - エ 指定の様式で、用紙が不足する場合は、適宜、追加して作成すること。
  - オ 企画提案書（添付資料含む）は A4 サイズ、両面印刷（長辺綴じ）を原則とする。
  - カ 構成図や画面イメージ等で A4 サイズでは記載できない資料については A3 を可とするが、折り込んで

- A4 サイズにすること。
- キ 「3 提案依頼事項」の順序通りに項目立てを行い、目次を付すこと。
  - ク 各様式にはインデックスタブを用意し、様式を検索しやすくすること。
  - ケ 提案内容を補足するための資料を添付する場合は、該当する様式の直後に挟み込むこと。

(2) 企画提案書の構成

- ア 企画提案書は、「表紙」、「目次」、「提案書」の順に綴じること。
- イ 企画提案書は、「3 提案依頼事項」の各項目にそって資料を作成すること。なお、項目別に提案内容を評価しやすいよう、項目ごとに指定された様式に従い資料を作成すること。
- ウ 提案項目により様式を「自由様式」としているものもあるため、様式の体裁は自由とするが、項目別に記載し、「3 提案依頼事項」の各項目別に並べること。

(3) 企画提案書の提出（入札時）

- ア 企画提案書は背表紙付きのバインダーに綴じて提出すること。
- イ 企画提案書は紙媒体で正本 1 部と副本 17 部、副本の CD-R の電子媒体 1 部を提出すること。
- ウ 正本は袋とし、企業名または代表者氏名を表紙（様式 A）に記載したうえ、「総合評価一般競争入札参加申請書」（様式第 1 号）に押印した印鑑を押印すること。また提出者の担当部門及び責任者を明示すること。
- エ 副本は表紙（様式 B）に企業名または個人名を記述しないこと。また提案書内容についても企業名、ロゴまたは個人名を類推できる表現を入れないこと。
- オ 電子媒体には、紙媒体で提出する文書全てを含めること。（一括で出力できるよう PDF にまとめること。）

—以下空白—

### 3 提案依頼事項

#### (1) 提案者概要

##### ① 会社概要（様式 1.1）

提案者に関する以下の情報を明記すること。

- ア 会社名
- イ 代表者名
- ウ 所在地（郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号、ホームページアドレス）
- エ 資本金
- オ 売上高（直近）
- カ 医療関連事業に対する事業継続年数
- キ 提案責任者（部署、氏名、電話番号、FAX 番号、メールアドレス）
- ク 提案者及び製造元の認証状況

以下の項目について、認証の有無と具体名、認定年月日を明記すること。なお、提案システムに複数の製造元が含まれる場合、全ての製造元の認定状況を記載すること。

- ・ ISO9000 シリーズ（品質マネジメントシステムに関する国際規格群）
- ・ ISMS（ISO/IEC27001）（情報セキュリティマネジメントシステム）
- ・ 経済産業省 SI 認定

- ケ 提案者の新病院を担当するエリアにおける体制のうち、医療情報技師（上級医療情報技師含む）の資格を取得している社員の人数。
- コ サポート拠点所在地、新病院までのおおよその移動時間、及び体制（サポート対応人員の人数）

##### ② システム導入実績（様式 1.2）

直近 5 年間（令和 2 年 4 月から令和 7 年 3 月まで）の期間を対象として、提案者による導入実績として、対象期間内に導入した実績の総数と、代表的な実績について以下の情報を明記すること。

- ア 医療機関名
- イ 経営主体
- ウ 病床数（一般／療養／精神／その他（感染・結核））
- エ 所在地
- オ 主な医療機能
- カ 標榜診療科数
- キ 導入スケジュール（稼働開始年月日、導入期間）
- ク 主なシステム構成（製品名、製品バージョン、製造メーカ）
- ケ 導入条件（新規導入・更新）
- コ 導入作業時の体制（社内体制、協力会社）

導入実績の記載は最大 5 件までとする。

**導入実績の対象は、提案者が主体となり提案内容に含まれる電子カルテシステムを稼働させた、日本国内の 200 床未満の病院とする。**

導入実績の対象施設が多数となる場合は、新病院の規模及び医療機能に類似しかつ近隣の医療機関から順（エリアとしては大阪府内、近畿圏の順、医療機関の種類としては、公立病院、公的病院、その他病院の順）に、主要な医療機関を明記すること。

③ システム稼働実績（様式 1.3）

直近 5 年間（令和 2 年 4 月から令和 7 年 3 月まで）の期間を対象として、提案する主たるシステム（電子カルテシステム、医事会計システム、放射線部門システム）の稼働実績について、以下の情報を明記すること。

- ア 製品名、製品バージョン
- イ 製造メーカ
- ウ 国内全体としての稼働数
- エ 主な導入担当会社
- オ 医療機関名
- カ 経営主体
- キ 病床数
- ク 所在地
- ケ 主な医療機能
- コ 標榜診療科数
- サ 導入スケジュール（稼働開始年月日、導入期間）

稼働実績の記載は最大 5 件までとする。

**稼働実績の対象は、対象とするシステムを稼働させた、日本国内の 200 床未満の病院とする。**

稼働実績の対象施設が多数となる場合は、新病院の規模及び医療機能に類似しかつ近隣の医療機関から順（公立病院、公的病院、その他病院の順）に、主要な医療機関を明記すること。

④ 責任者職務実績（様式 1.4）

提案するプロジェクトの体制として、プロジェクトマネージャおよびプロジェクトリーダーの職務実績について以下の情報を明記すること。

- ア 担当者役割
- イ 年齢・性別
- ウ 担当者名
- エ 保有資格（資格名称、取得年月日）
- オ 経験した医療機関情報（医療機関名、経営主体、病床数、所在地、主な医療機能、標榜診療科数、稼働開始年月日、導入期間）
- カ 経験したシステムの情報（主な導入システム名、製品名、製品バージョン、製造メーカ、新規・更新の区別、導入時の役割、導入時体制）

職務実績の記載は最大 5 件までとする。

**職務実績の対象は、日本国内の 200 床未満の病院とする。**

職務実績が多数となる場合は、新病院の規模及び医療機能に類似しかつ近隣の医療機関から順に記

載すること。

(2) 要求仕様に対する実現性 (様式 2.1、様式 2.2)

① (様式 2.1) システム機能に対する要求事項の回答書の「回答」欄には、A～C を記載すること。

A: 入札金額の範囲内で対応可能

B: 入札金額の範囲内で代替案の提示が可能

A では対応できないが、他施設での事例を基に、実現が可能な運用案を提示できる。

具体的な代替運用方法を「対応方法」の欄に記載すること。※別紙での添付も可

C: 対応不可

A・B のいずれの方法でも対応できない場合。

(提案がない又は記載がない場合は C とみなす。)

② (様式 2.2) 業務委託内容への加点項目の回答書の「回答」欄には、A～C を記載すること。

A: 対応可能

技術的、法的、運用的に実現可能な場合。

B: 一部対応可能かもしくは追加費用で対応が可能

上記の場合は「対応方法」欄に具体的に記載すること。

追加費用が発生する場合には金額を記載すること。

C: 対応不可

A・B のいずれの方法でも対応できない場合。

(提案がない又は記載がない場合は C とみなす。)

(3) システム品目内訳書 (様式 3)

「資料 3-2 システム品目内訳書作成要領」に従って作成すること。

(4) 提案システムの特徴 (様式 4: 自由様式)

提案システムが新病院にもたらす効果について具体的な提案 (メリット、他事業者との比較優位性、利用者の負担軽減) があれば記載すること。

利用者の負担軽減の工夫として、以下のような点について具体的な記載があれば望ましい。

・不要な画面展開の削減やクリック数の削減など、操作手順の簡略化のための工夫。

・入力画面において、目的に応じた初期値の自動設定や、他の入力画面の情報の自動展開など、入力操作の負担軽減と転記による誤入力防止のための工夫。

(5) 提案システムの明細

提案システムの範囲、構成等の詳細を記載する。

① 提案システムの構成（様式 5.1）

提案システム全体に対する各構成要素となる製品に関する詳細を明記すること。

新病院が要求する個別システムを実現するために、複数のサブシステム（別の製品）を必要とする場合は、サブシステムの欄を追加して同様に記載すること。

新病院が要求する個別システムの機能を他のシステムにより包含する（他のシステムの標準あるいはオプション機能により代用する）場合は、製品名称の欄に包含する製品の名称及び代用する機能名称を記載すること。

- ア 製品名、製品バージョン
- イ 製品製造メーカ
- ウ 当該製品の初期バージョン販売開始年月日
- エ 当該製品の最新バージョンの販売開始年月日
- オ 当該製品が使用するサーバーOSの製品名とバージョン
- カ 当該製品が使用するクライアントOSの製品名とバージョン
- キ 当該製品の稼働に対するリモート保守の要否
- ク 製品特徴
- ケ システム対応（自社製品は○、他社製品は△）
- コ 製品機能、資料番号

② システム構成図（様式 5.2：自由様式）

本件システムとして「添付 2 医療情報システム一覧」の各システムを「添付 3 医療情報システムの構成図」のように構成することを想定している。これらの資料に基づき、提案するシステムについて、（様式 5.1）提案システムの構成で記載された各システムおよび関連する機器等の構成について、システム間の関係・連携が明確となる構成図として記載すること。特に、新病院が想定したシステム構成と提案するシステムの構成が異なる場合は、提案内容を具体的に反映して記載すること。

③ システム間連携（様式 5.3）

本件システムでは、「添付 2 医療情報システム一覧」で示す各システム間の連携を「添付 5 医療情報システムにおけるシステム間連携」のように実現することを想定している。これらの資料を参考に、提案するシステムについて、（様式 5.1）提案システムの構成で記載されたシステムおよび関連する機器等について、（様式 5.2）システム構成図で記載されたシステム間の関係をもとに、下記の内容を記載すること。

- ア 連携先システム
- イ 連携の内容と方向（連携情報）
- ウ 連携の方式
- エ 連携のタイミング

④ サーバラック収納構成図（様式 5.4）

本件システムの構築では、仕様書の「ファシリティ」に示すように、新病院 病院棟内のサーバー室内に 19 インチラックを用いてサーバー機器類の設置を想定している。このため、提案システムが必要とする配置スペースに

関し、下記の内容を記載すること。

- ア システム名
- イ サーバー及び機器の種類・用途
- ウ 台数
- エ 使用ユニット数（据え置き型の場合は W/D/H を記載する）
- オ 消費電力
- カ 発熱量
- キ 重量

サーバー機器のみでなく、UPS、KVM、スイッチ等関連する機器について全て記載すること。  
設置・管理の関係で複数のサーバーラックを構成する場合、それぞれのラック毎に記載すること。

#### ⑤ ネットワーク構成図（様式 5.5：自由様式）

（様式 5.1）提案システムの構成で記載されたシステムについて、（様式 5.2）システム構成図で記載されたシステム間の連携を実現するために必要とするネットワーク構成について記載すること。

ネットワーク構成の提案においては、「添付 6 ネットワーク構成等の考え方」、「添付 7 医療情報システム 端末・LAN 配置計画」、「添付 8 無線 LAN 配置計画」、「添付 9 外来表示機器配置計画」及び「添付 13 LAN 配線の工事区分の考え方」を参考とすること。

ネットワーク構成において、医療情報システムの可用性を損なわないよう、必要に応じた経路・機器の冗長化を求めている。提案書には経路・機器の冗長化について具体的な提案内容を記載すること。

ネットワークアドレス（IP アドレス）の体系、VLAN による論理的なネットワーク分離に関する提案について、その詳細について記載すること。

#### ⑥ ネットワークセキュリティ対策（様式 5.6：自由様式）

（様式 5.1）提案システムの構成で記載されたシステムについて、オンライン資格確認、電子処方箋等の公的サービス利用のための外部との通信、システムやウイルス対策パターン等のアップデートを目的とした外部との通信、及びリモート保守を行う場合にリモート保守のための外部との通信等、院内のネットワーク及び機器と外部との接続に対するセキュリティ対策について具体的な提案内容を記載すること。

#### （6）システムの使いやすさ（様式 6.1：自由様式）

システムの操作において、情報の把握を迅速に行えるための工夫について具体的に記載すること。

システム操作において、情報の誤認、情報共有・伝達時の錯誤を防止するための工夫について具体的に記載すること。

電子カルテログイン中に本調達に含まれるシステム及び含まれないシステムを起動する際、シングルサインオンが可能な範囲を具体的に記載すること。

#### （7）構築プロジェクトに関する提案

##### ① 構築スケジュールと役割分担（様式 7.1）

本件システムの構築では、「添付 11 医療情報システム構築スケジュール」に示すようなスケジュールを想定

している。この資料を参考に、提案する構築スケジュールについて、下記内容を記載すること。

- ア 契約締結からシステム本稼働及び稼働後の安定稼働確認までのスケジュールについて、全体及び各部門システム間の関係を含めて具体的なスケジュールを記載すること。
- イ 構築スケジュールに基づき、少なくとも月次単位での配員計画（総人数、現地対応人数等）を記載すること。
- ウ 構築スケジュールに記載した作業単位毎に、提案者と新病院の役割分担と、新病院に求められる作業内容及び想定される作業量を具体的に記載すること。

## ② 開発体制と担当者の実績（様式 7.2）

- ア システム構築におけるプロジェクト体制、主な技術者の直近の経験について具体的に記載すること。
- イ プロジェクト体制には、提案主体となる会社のみでなく、部門システムの構築ベンダも含めた全体について記載すること。
- ウ システム構築において、提案者以外にも複数の会社により構築作業を行う場合は、関係する全ての会社の担当者についても記載すること。

## （８）システム構築に関する提案

「添付 11 医療情報システム構築スケジュール」に示す新病院の建物引渡し時期を前提に、システム構築にかかる下記内容について円滑に実施できるよう、具体的な提案内容を記載すること。特に、建物引き渡し前に実施する作業の実施方法等について具体的に記載すること。

### ① WG（ワーキンググループ）の構成と実施方法（様式 8.1：自由様式）

- ア WG の構成、必要となるメンバー、WG で実施する作業の内容と、想定する開催回数と期間を具体的に記載すること。
- イ 新病院の診療機能に影響が生じないよう、WG 実施による職員の負担軽減のための工夫について具体的に記載すること。

### ② マスタ構築の方法（様式 8.2：自由様式）

- ア マスタデータの構築作業について、マスタデータの作成・更新方法、マスタデータの構築スケジュールと提案者及び新病院職員の役割分担について具体的に記載すること。
- イ システム稼働後における、医療改定・薬価改定等で生じるマスタデータの変更に対する、マスタデータの登録、関係するシステム間でのマスタデータの整合の方法について、システム機能及び運用方法の工夫について具体的に記載すること。
- ウ 地域医療連携、電子カルテ情報共有サービス等の情報提供で求められる標準マスタに対応するためのシステム機能及び運用方法の工夫について具体的に記載すること。

※（様式 5.1）提案システムの構成に示された個別システムにより上記提案内容が異なる場合は、提案内容の差異について明記すること。

## （９）稼働準備に関する提案

「添付 11 医療情報システム構築スケジュール」に示す新病院の建物引渡し時期を前提に、システム構築

にかかる下記内容について円滑に実施できるよう、具体的な提案内容を記載すること。

① 職員に対する操作訓練及び研修の内容と実施方法（様式 9.1：自由様式）

ア 操作教育の方法、操作教育の回数と内容及び教育スケジュール（教育計画）を具体的に記載すること。

イ システム稼働までに十分な操作習熟を達成できるような工夫について具体的に記載すること。

ウ 提案者により提供される操作マニュアルの範囲と内容（メーカ標準版の提供か新病院に合わせた個別内容かなど）を記載すること。

※（様式 5.1）提案システムの構成に示された個別システムにより上記提案内容が異なる場合は、提案内容の差異について明記すること。

② リハーサルの考え方と実施方法（様式 9.2：自由様式）

ア リハーサルの対象範囲と実施回数、実施時期を具体的に記載すること。

イ リハーサル実施における提案者及び部門ベンダ等の関係者の支援体制を具体的に記載すること。

ウ リハーサルシナリオの提供、シナリオ内容の調整、リハーサル用事前データ登録等、提案者により実施される範囲と、新病院職員に求められる作業内容及び作業量を具体的に記載すること。

※（様式 5.1）提案システムの構成に示された個別システムにより上記提案内容が異なる場合は、提案内容の差異について明記すること。

（10）システム稼働開始に関する提案（様式 10：自由様式）

① システム稼働における稼働立会のスケジュールと支援体制（支援人数）について具体的に記載すること。

② 稼働立会体制では、部門システムの支援体制についても漏れなく記載すること。

※（様式 5.1）提案システムの構成に示された個別システムにより上記提案内容が異なる場合は、提案内容の差異について明記すること。

（11）安定稼働に関する提案

① 障害の想定とその対策及び回避策（様式 11.1：自由様式）

ア システム稼働後に発生する可能性のある障害を列挙し、その障害を予防するための対策がどのように提案されているか具体的に記載すること。

イ 前項で想定された障害が発生した場合の対応方法について具体的に記載すること。

ウ 「資料 1 医療情報システム構築業務委託にかかる仕様書」における「保守容易性」で求める対策について、どのような提案が含まれているか具体的に記載すること。

エ 「資料 1 医療情報システム構築業務委託にかかる仕様書」における「バックアップ」で求める対策について、どのような提案が含まれているか具体的に記載すること。

オ 障害の検知、障害発生時の対応、バックアップ等において、運用管理者を支援するための機能、提案者による支援の内容について、どのような提案が含まれているか具体的に記載すること。

カ ウィルス感染、ネットワーク障害、ハードウェアおよびソフトウェアの不具合等に起因する各種障害、ならびにそれに伴い発生する事象（例：個人情報漏洩、電子カルテの停止など）について、障害の重大度（緊急・重大・通常）に応じて分類を行い、それぞれに対する予防策、発生時の初動対応、復旧

- 手順、再発防止策までを、具体的かつ体系的に整理・記載すること。
- キ 提案者の障害対応および情報セキュリティに対する基本的な考え方、リスクに対する認識、ならびに平時・有事における具体的な取り組みについての記載すること。

② レスpons低下に対する対策及び回避策（様式 11.2：自由様式）

- ア システム稼働後にレスpons低下が発生し得る要因を列挙し、その要因に対する対策がどのように提案されているか具体的に記載すること。
- イ 想定されたレスpons低下が発生した場合の対応方法について具体的に記載すること。

③ 保守体制（様式 11.3：自由様式）

- ア システム稼働後の安定稼働を実現するための保守について、保守の体制、対応内容について具体的に記載すること。
- イ 標準的な保守の対応について、対応時間（対応する曜日、問い合わせ可能な時間等）について具体的に記載すること。特に、夜間・休日における障害対応等について具体的に記載すること。
- ウ 部門システムについても漏れなく記載すること。
- エ マルチベンダ方式によりシステムを構築する場合、ベンダ間での連絡・対応体制と、責任区分について具体的に記載すること。
- オ ネットワーク環境の保守についても漏れなく記載すること。
- カ 保守の対応においてリモート保守を想定する場合は、リモート保守を担う部署・担当者等の組織的体制、教育体制、セキュリティ対策内容などについて記載すること。
- キ ヘルプデスク業務（製品の使い方、障害発生時の切り分け支援、技術的な問い合わせ等）に対し、提案者が実現する支援業務の範囲とその内容について具体的に記載すること。
- ク 標準的なヘルプデスクの対応において、対応時間（対応する曜日、問い合わせ可能な時間等）について具体的に記載すること。
- ケ システム切換え実施年度、システム切換えの翌年度以降のそれぞれに対する支援方法が異なる場合、各年度の対応方法について具体的に記載すること。
- コ 部門システムについても漏れなく記載すること。

（12）セキュリティに対する考え方

① サイバー攻撃に対するセキュリティ対策（様式 12.1：自由様式）

- ア 外部からの侵入・攻撃、盗難、情報の漏えい・流出など、想定されるセキュリティリスクを列挙し、どのような対策が提案に含まれるか具体的に記載すること。
- イ 「資料 1 医療情報システム構築業務委託にかかる仕様書」における基本的要件の「機密性」で求める対策について、どのような提案が含まれているか具体的に記載すること。特に、オンライン資格確認、電子処方箋対応等、通常業務として行われる外部との通信について、提案範囲に含まれる具体的なシステム・機能等を列挙し、想定している対策について具体的に記載すること。
- ウ サイバー攻撃の検知について、運用管理者がサイバー攻撃の有無を検知するための方法、提案者によ

- る支援の内容について、どのような提案が含まれているか具体的に記載すること。
- エ サイバー攻撃が発生した場合、システムの復旧に対する考え方、提案者と新病院との責任分界点について具体的に記載すること。
- オ 保守の方法としてリモート保守を想定する場合は、リモート保守における物理的対策、運用的対策等について具体的に記載すること。

② 内部活動に対するセキュリティ対策（様式 12.2：自由様式）

- ア 内部からの故意・不注意等による情報の漏えい・流出など、想定されるセキュリティリスクを列挙し、個人情報情報の匿名化など、どのような対策が提案に含まれているか具体的に記載すること。
- イ 「資料 1 医療情報システム構築業務委託にかかる仕様書」における基本的要件の「機密性」で求める対策について、どのような提案が含まれているか具体的に記載すること。

（13）コストに関する提案

① 継続利用にかかる費用（様式 13.1：自由様式）

- ア 本提案において、システム稼働後に発生する各種費用の削減に向けて、どのような工夫がなされているか具体的に記載すること。具体的な事例としてシステム稼働後の病棟の追加、病床の変更、診療科の追加・変更・削除等が発生した場合の費用の考え方（保守費用で対応可能な範囲等）について記載すること。
- イ 本提案において、保守費用の削減に向けてどのような工夫がなされているか具体的に記載すること。
- ウ 本提案以外に、継続利用にかかる費用削減に向けた提案があれば具体的に記載すること。またその提案実現に向け、新病院に期待する対応があれば具体的に記載すること。

② システム更新費用に対する考え方（様式 13.2：自由様式）

本件システムライフサイクル終了に伴う次回システム更新について提案を求める。

- ア 次回システム更新時、提案者のシステムを継続して利用することを前提とした場合、最低限必要となる費用の考え方と、本提案時の費用内訳を前提とした概算費用について、可能な範囲で記載すること。
- イ 次回システム更新時、提案者とは異なるベンダのシステムに更新することを前提とした場合、最低限必要となる費用の考え方と、本件提案時の費用内訳を前提とした概算費用について可能な範囲で記載すること。
- ウ 次回システム更新にかかる費用を削減するための提案があれば具体的に記載すること。またその提案実現に向け、新病院に期待する対応があれば具体的に記載すること。

③ 製品（OS など）のサポート終了に対する対応（様式 13.3：自由様式）

- ア 本件提案に含まれる各システムについて、生産終了・サポート終了が計画（予定）されている場合はその期限について記載すること。
- イ 本件提案システムから次のシステム更新を行う場合、蓄積されたデータの移行実施に対し、提案者としてどのような対応を想定しているのか、システム機能、必要な費用とその削減のための工夫について具体

- 的に記載すること。
- ウ 本件提案システムから次のシステム更新を行う場合、完全なデータ移行が実現できない場合に、旧システム（本件提案システム）に蓄積されたデータをどのように参照可能とするか具体的に記載すること。

（１４）情報の利活用（様式 14.1：自由様式）

- ア 提案システムに蓄積される各種データの二次利用の方法と効果について、実際の事例紹介を具体的に記載すること。
- イ 患者情報の一次利用を目的として、蓄積されているデータの検索、抽出をどのように実現できるのか具体的に記載すること。
- ウ 提案システムに蓄積されたデータの一次利用、二次利用を実現するために、提案者としてどのような支援が可能か具体的に記載すること。
- エ 学会報告、認定取得のための報告、カンファレンス等の院内教育等を目的として、提案システムに蓄積された各種データを活用するための工夫について具体的に記載すること。